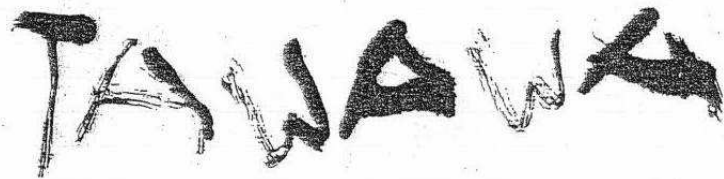


たわわ



地域で生きる障害者を支える会通信

発行 2006年5月28日

67号

「地域で生きる障害者を支える会」会報

住所：横浜市港北区下田町6-31-8

活動ホーム「しもだ」内

TEL 045-562-3600

FAX 045-562-5991

啓発事業・写真展へ向けて

重度障害者からのメッセージ 笑顔に乗せて

爽やかというにはほど遠い日照不足の5月でしたが、ここ数日はようやく晴れて初夏の気配をみせています。みなさまには、いかがお過ごしでしょうか。

4月からグループホームのある新吉田町の地域交流イベントや、それに続いて唱の会・コールたちばなのみなさまによるチャリティーコーラス演奏会があり、忙しい新年度明けとなりました。「支える会」会員の小栗由美子さんを中心としたチャリティーコーラス演奏会は、大盛況のうちに終わり、すべての収益金を「支える会」の活動費としてご寄付いただきました。ここに厚くお礼申し上げます。

まもなく6月には写真展を予定しており、準備にかかっています。なにかと忙しい活動の中ですが、大切なものを見失わないように一同身を引き締めているところです。

＝ 写真展・地域で生きる重度障害者 ＝

- * 今年で4回目、横浜港北の地より、やさしい笑顔に乗せて
- * メッセージを送ります。
- * どんなに重い障害があっても、必要な支援があれば
- * 自分らしく生き生きと過ごせることを…

日時：平成18年6月12日（月）から17日（土）

午前10時30分～午後6時00分（初日は午後1時より、最終日午後1時から4時まで）

会場：大倉山駅前通り アートかれん「ギャラリー かれん」

東横線「大倉山」駅下車2分（東京三菱銀行の前）

主催：地域で生きる障害者を支える会

共催：障害者グループホーム「よつばホーム」・「第2よつばホーム」



おやじのメガネ

櫻井 徹

電車が駅のホームに滑り込みドアが開く。背中の鞆で人を押しつけて無言で出て行く人がいる。こちらは本に夢中で出口を塞いでいたなんて気づかなかった。一声か掛けてくれれば気持ち良く通してあげられるのに。知らない同士が声を掛け合うことがはばかりされる今の時代。人ごとではない、私自身声が出掛かっても飲み込んでしまうことがたびたびある。

大きな声と大勢の歓声に迎えられて入るよつばホーム。こちらも負けずに精一杯の声で応える。ああ至福の一瞬（・・・懐かしい）。人はそれ（迎えてくれる人がいる）だけで、生きる勇気が湧いてくる不思議な動物。なのにみなそれを忘れてる。今日、何回大きな声で挨拶できるだろうか。

ご入会、ご継続 ありがとうございます

《会員》

[敬称略]

小栗由美子 西脇 久夫 大原 日恵 藤田 寿子 若木 信子
大原 友子 竹生真喜子

《賛助会員》

加藤 秀子 川上 三寶 浜 あい子 小泉 寿子 佐藤 幸市
佐藤由美子 岡本美知子 鈴木 恒夫 高安 克典 高安 晴美
高安 恒晴 高安 希和 小林 辰雄 松本 直子 赤瀬 福子
佐藤 政子 戸川 英丈 高島 幸子 山口 進 明田川節子
金子瑠美子 大澤富美子 入江 勝通 三上 文子 小栗 芳久
小栗 雄介 小栗 洋平 小栗久美子 西脇 五月 西脇美登里
箴島 義弘 北川 道子 小竹 正浩 石渡 和実 有田多恵子
中村孝太郎 佐々木幸子 鈴木喜三枝 新田新之助 新田 恵子
川尻 浩介 川尻 章子 森 芳春 平等 直 山内 朋子
山本 暁子 由井 昌子 竹生 義行 有留

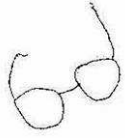
《賛助会員団体》

パナホーム株式会社

《ご寄付》

唱の会様 コールたちばな様 (18年5月29日現在)

※ 振込み受け取りの処理の関係上、ご掲載が遅くなる場合があります。御了承下さい。



めがねの声

この前 久しぶりに 筋ジストロフィーの 絵の先生大塚さんに あいまして。「たわわ増刊号」の インタビューをするためです。私は、久しぶりに話をしました。

私は、前に 地域で生きられるように いろいろ勉強したり 体験したりしていました。

トーキングエイドで 電話をする練習や 皆にたのんで 出かけたり自立の 勉強の会や グループに 参加したり などしていました。

一番大変だったし 嬉しかったことは 電動車椅子で 一人で電車に乗って 作業所に通えるようになった時でした。たくさんの人にお世話になったり 家の皆にもみてもらって 自信もつきました。言葉が不自由なために 困ったこともありました。

大塚さんがときどき 駅員に「このごろ 友子ちゃん来てますか」と聞くと、「ええ お元気そうですよ」と言ってくれていたそうです。

「友子が 電車を通うことは すごく意味があるんだ。 駅員は しゃべれない人と しゃべらなくちゃならないんだからね...」と大塚さんは 言います。あの頃いた 駅員さんたちはもうすっかり変わったそうです。少し残念だけど 仕方ないよね。今度頼むときは また 始めからか と思うと 少し めんどくさいなと 思うけれど いろんな人に会うことで 皆変わって行って欲しいなと思います。

グループホームに 入ることで 電車に乗ることは 少なくなりましたが 車イスで 自由に あちこちへ行くという夢は すてていません。

大塚さんは「また 白楽の街を 一緒に歩こうぜ。いろいろなお店を 紹介するよ」と 言って下さいました。

私はちょっと 心が晴れました。大塚さんは いろいろ教えてくださる とても大切な人です。いつまでも 元気で 見守って欲しいと思います。 大原友子

はじめまして！！

今井綾子

4月から非常勤職員として勤務しております、今井綾子と申します。子供の頃、あこがれの人とTVに出たくてトランペット等の楽器をいじり始めたシーハーです。あこがれの人。。。そうです！変なおじさん『○村けん』です。



『8時だヨ 全員集合！』を私の演奏で舞台を盛り上げるぞ～！という大きな野望は、番組終了とともに破れ去ってしまいましたが、よつばホームで毎朝のように流れる『ドリフターズ』の曲はなつかしさと共に、まるで子供時代に戻ったかのような気分で楽しんで歌って踊っています。明るさだけがとりえのおバカな私ですが、よろしくお願い致します。

今月のよつばホーム

よつばホーム

こんにちは！よつばホームです。間もなく梅雨のシーズンですね。今回はよつばホームのゴールデンウィークについて紹介します。5/3に第2よつばと一緒に新羽駅そばのファミリーレストランに行きました。相談の結果、中華料理に決めました♪介助スタッフ合わせ総勢15人です。しかも運良くみんな隣同士のテーブルにつくことができました。席につきなり早速次郎さんはメニューを見始めます。一通り目を通しますが結局はみんなの期待を裏切らず『あんかけやきそば』を注文。自分のが決まるとすぐに、今度はみんなの決め始めます。そのアドバイスを参考に藤田さんは『チャーハン』、花岡さんは『坦々麺』、せつこさんは『桃まんじゅうと杏仁豆腐』を注文します。みんなそろって食べれることもあって、とても楽しく頂きました。帰り道も爽やかな風にふかれ気持ちよく歩いてきました。翌日には近くのスーパーへみんなで購入物行ったり、勢津子さんはウィーン少年合唱団を観に行ったりと、楽しく休日を過ごすことができました。



第2よつばホーム



最近の変な気候続きのため、第2よつばホームでは入居者、職員に風邪が流行ってしまいました。今年の冬は元気に過ごせたのですが…体調を崩してしまった時、入居者のみんなはどのように過ごしているかというところ、デイサービスを休んで日中もグループホームで職員やヘルパーさんと過ごしたり、場合によっては実家に戻り休む場合もあります。一人が良くなったと思っても、次に誰かが具合が悪くなってしまったり…集団生活なので、どうしてもうつってしまう事があるのです。

風邪などの場合は、主治医の所までわざわざ行かずにグループホームのホームドクターである斉木クリニック（都筑区）にかかる事が多いです。斉木先生はみんなの事を知ってくれているので、安心です。

また、先月お伝えしたように訪問看護サービスも利用していますので、いつもと様子が違う場合は電話での相談や、定期的訪問日以外にも訪問してもらえます。

電話での相談は24時間可能と、とても安心な体制がとられています。

これからはジメジメとした梅雨の季節ですが、バランスの良い食事と栄養を十分に摂って元気に乗り切りたいと思います。

